

平成29年度香川県偕行会総会

平成29年5月8日

平成29年度香川県偕行会総会は、4月29日（土）、来賓5名、会員19名合計24名の出席の下、高松東急REIホテルで開催された。

総会は10時30分に始まり、国歌斉唱、

次いで戦没の英霊・殉職自衛官、物故会員に対して黙祷を行う。会長挨拶、来賓紹介に引き続き総会に進んだ。

議事に入り会長が議長となり、平成28年度事業報告、収支決算報告、監査報告、平成29年度事業計画（案）、収支予算（案）、役員改選（案）が審議され、満場一致で承認された。

昨年に引き続き、英霊の顕彰及び会勢の充実、特に部内出身幹部会員の入会の推進を重視して活動するとともに、入会会員を含め会員相互の交流・親睦に努めることとした。役員改選は会長後藤英機（陸自66）の再任が報告された。

記念講演は、11時30分より偕行社から



近現代史研究委員経済学博士荒川憲一氏を迎え、「補給戦としてのガダルカナルの戦い」の講話を拝聴する。

ソロモン海戦の勝利等勝機を生かし切れず、拙劣な戦闘指導に加え、強靱な補給・輸送の態勢を造成出来ず、敗北を喫した日米の相違について熱く語られ、予定時間を20分超えて終了。

13時より懇親会に移り、来賓の陸上自衛隊第14旅団長大西裕文陸将補、香川県隊友会長林政夫氏より祝辞を頂いた。偕行社富澤暉理事長からの祝電紹介、大塚良和会員（陸自71）による詩吟「日本魂」の披露の後、陸士61期渡邊典雄元会長の乾杯の音頭で祝宴に入る。

途中、新入会員の紹介・挨拶、懇親会が佳境に入り、恒例の軍歌演習で「歩兵の歌」、隊歌「君のその手で」続いて「陸上自衛隊幹部候補生学校校歌」、「陸軍士官学校校歌」と蛮声を張り上げ合唱し、大いに雰囲気は盛り上がったところで、副会長氏家嘉宣（陸自69）の発声で万歳三唱。15時、名残を惜しみつつ散会した。

従前会員の参加は1名、寂しさを禁じ得ず。元会員の今後の団結・健勝の誓いを新たにした。

副会長 大西邦彦（陸自69）